

(1) 報告事項

ア 県行財政運営方針による影響について

(概要)

昨年12月、県の行財政運営方針の見直し（一次案）が示されました。

高齢者福祉関係の本市への影響としては、人生いきいき住宅助成事業（一般型）は令和3年度で事業廃止、老人クラブ活動強化推進事業は令和4年度から補助金額の減額という非常に厳しい内容でした。

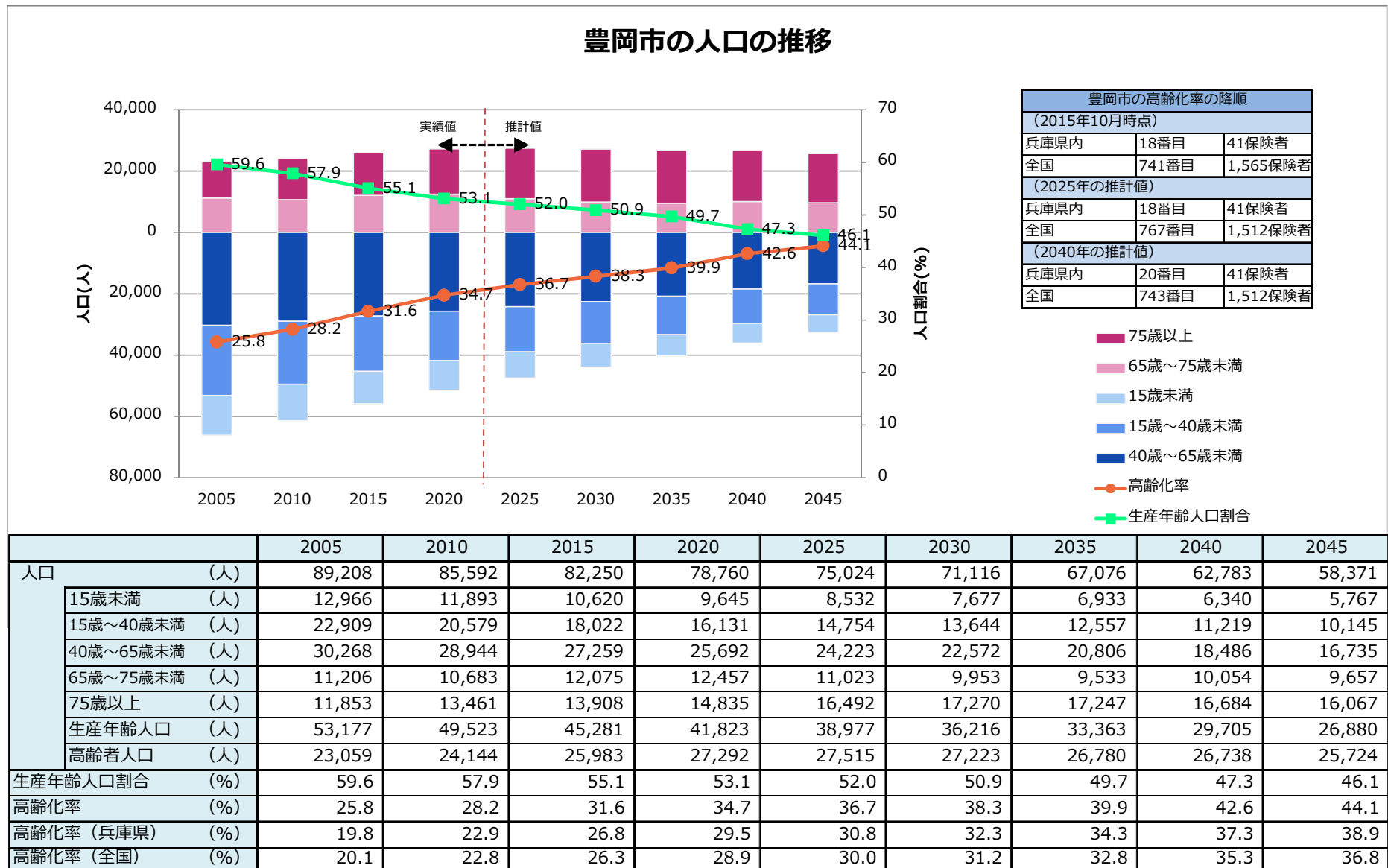
そのため、各市町からも反発する意見が相次ぎ、県において改めて検討がなされ、この2月に最終案が示されました。

最終案では、人生いきいき住宅助成事業の一般型は、一次案のとおり事業が廃止されますが、老人クラブ活動強化推進事業は令和4年度は変更なしで、令和5年度からの見直しを目途に検討することになりました。

事業名	見直し内容	改善の方向性・代替事業
人生いきいき住宅助成事業（一般型）	予防的なバリアフリーを実施する一般型を廃止。（要介護認定後等に実施する特別型は存続）	介護保険制度の住宅改修費（20万円上限）や特別型で対応。
老人クラブ活動強化推進事業	市町、関係団体等との協議・説明に要する時間等を考慮し、令和5年度からの見直しを目途に検討。	老人クラブ活動の活性化と支援のあり方を検討。

(2) 協議事項

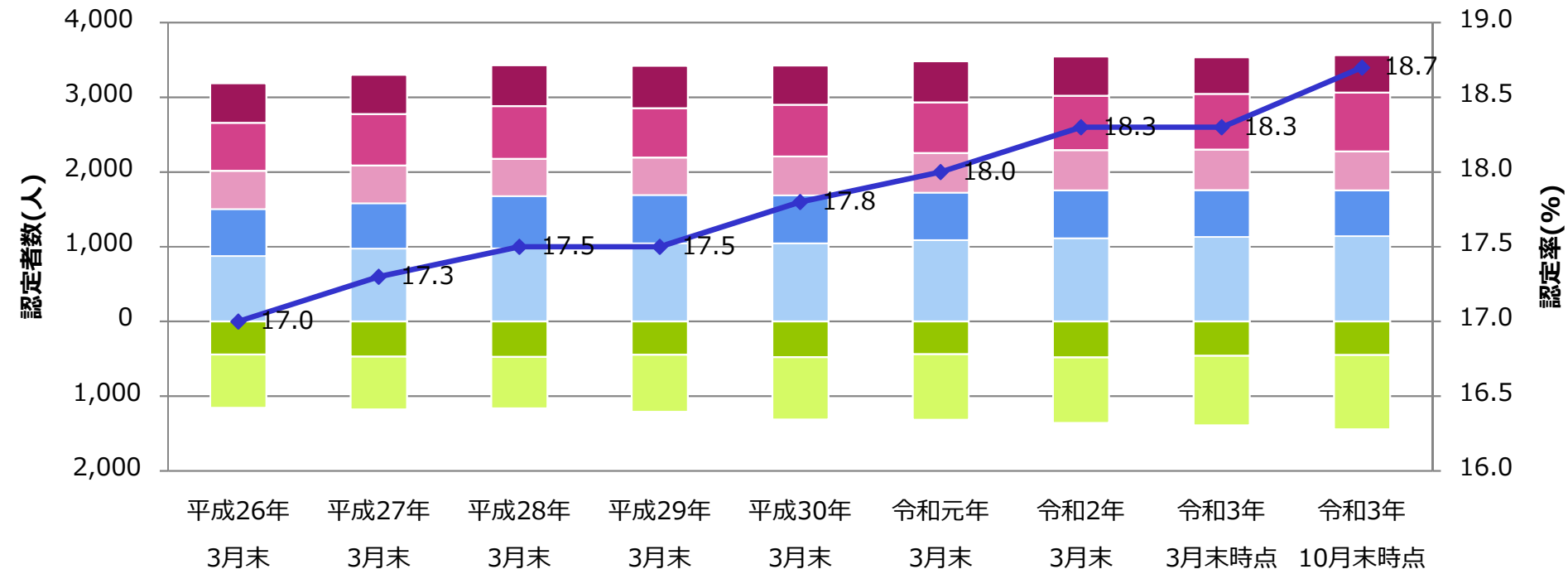
ア 豊岡市の人口、認定者数、介護給付費、保険料の推移について



(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」

2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」※地域包括ケア「見える化」システムから引用した資料であり、老人福祉計画・第8期介護保険事業計画に記載している数値とは異なります。

豊岡市の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



豊岡市の認定率の降順 (平成 3年10月末時点)		
兵庫県内	29番目	41保険者
全国	676番目	1,571保険者

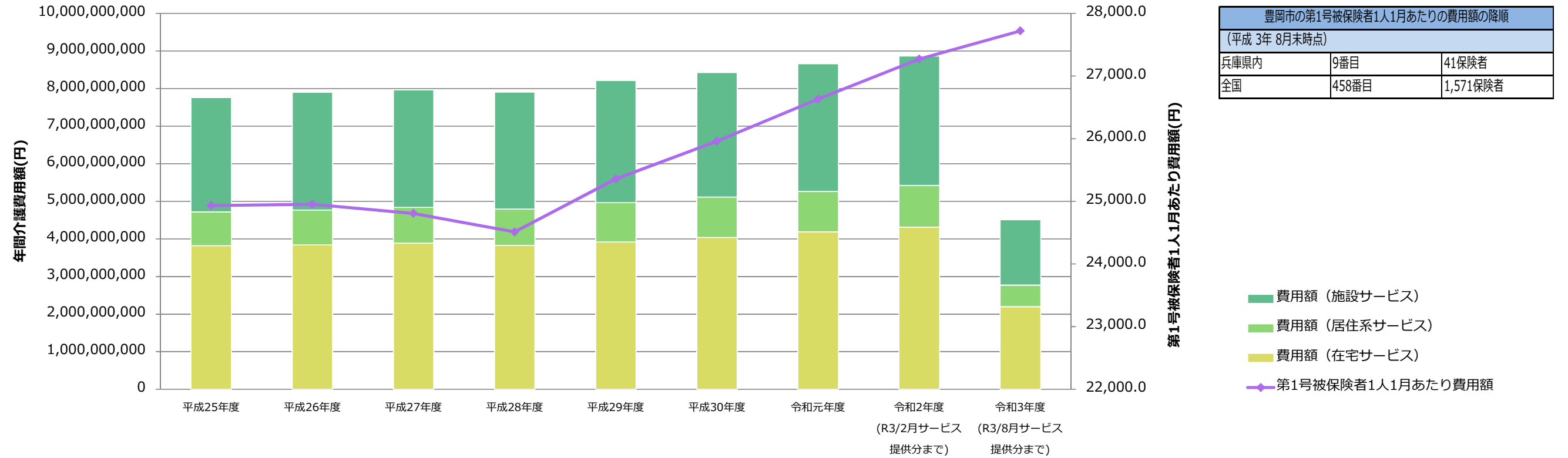
- 認定者数（要介護 5）
- 認定者数（要介護 4）
- 認定者数（要介護 3）
- 認定者数（要介護 2）
- 認定者数（要介護 1）
- 認定者数（要支援 1）
- 認定者数（要支援 2）
- 認定者数（経過的要介護）
- ◆ 認定率

	平成26年 3月末	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末時点	令和3年 10月末時点
認定者数 (人)	4,348	4,483	4,597	4,634	4,741	4,800	4,907	4,926	5,010
認定者数（要支援 1） (人)	714	706	689	763	832	875	876	929	992
認定者数（要支援 2） (人)	445	474	477	449	481	441	485	461	452
認定者数（経過的要介護） (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定者数（要介護 1） (人)	876	976	977	1,047	1,047	1,089	1,112	1,132	1,142
認定者数（要介護 2） (人)	627	606	699	646	642	633	642	626	612
認定者数（要介護 3） (人)	515	506	502	502	522	532	542	542	522
認定者数（要介護 4） (人)	641	689	704	660	692	680	726	748	789
認定者数（要介護 5） (人)	530	526	549	567	525	550	524	488	501
認定率 (%)	17.0	17.3	17.5	17.5	17.8	18.0	18.3	18.3	18.7
認定率（兵庫県） (%)	18.6	18.8	18.9	19.1	19.1	19.6	19.9	20.1	20.4
認定率（全国） (%)	17.8	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.8

(出典) 平成25年度から令和元年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和2年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和3年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

※地域包括ケア「見える化」システムから引用

豊岡市の介護費用額の推移



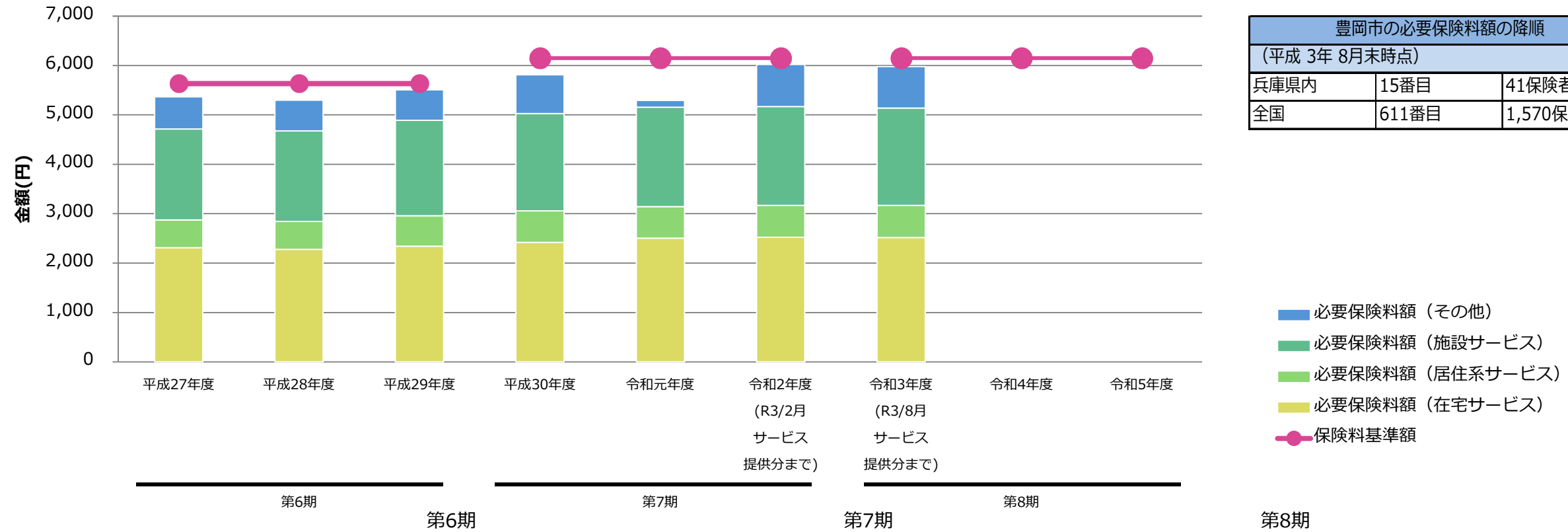
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (R3/2月サービス 提供分まで)	令和3年度 (R3/8月サービス 提供分まで)
費用額 (円)	7,761,456,466	7,901,574,896	7,962,711,301	7,903,068,425	8,213,326,821	8,426,675,171	8,659,616,710	8,865,935,816	4,506,752,176
費用額 (在宅サービス) (円)	3,820,029,416	3,839,527,922	3,885,883,887	3,829,819,179	3,919,348,669	4,039,847,691	4,190,335,930	4,311,307,950	2,198,360,607
費用額 (居住系サービス) (円)	899,647,494	929,886,666	952,452,106	962,452,776	1,042,415,467	1,075,087,694	1,071,096,436	1,111,319,069	573,585,928
費用額 (施設サービス) (円)	3,041,779,556	3,132,160,308	3,124,375,308	3,110,796,470	3,251,562,685	3,311,739,786	3,398,184,344	3,443,308,797	1,734,805,641
第1号被保険者1人1月あたり費用額 (円)	24,934.3	24,954.7	24,808.0	24,511.6	25,355.6	25,960.2	26,633.2	27,271.8	27,721.7
第1号被保険者1人1月あたり費用額 (兵庫県) (円)	22,111.2	22,388.7	22,432.8	22,752.6	22,945.9	22,937.4	23,692.9	24,236.5	24,949.5
第1号被保険者1人1月あたり費用額 (全国) (円)	22,531.8	22,878.0	22,926.6	22,966.8	23,238.3	23,498.7	24,105.9	24,579.7	25,230.6

(出典) 【費用額】平成25年度から令和元年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和2年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和3年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

※地域包括ケア「見える化」システムから引用

豊岡市の保険料額の推移



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (R3/2月 サービス 提供分まで)	令和3年度 (R3/8月 サービス 提供分まで)	令和4年度	令和5年度
必要保険料額（合計）	5,365	5,298	5,508	5,810	5,294	6,018	5,979	-	-
必要保険料額（在宅サービス）	2,312	2,278	2,343	2,419	2,506	2,524	2,518	-	-
必要保険料額（居住系サービス）	560	565	617	638	635	645	650	-	-
必要保険料額（施設サービス）	1,842	1,834	1,930	1,968	2,014	1,999	1,970	-	-
必要保険料額（その他）	651	621	618	785	139	850	841	-	-
保険料基準額	5,634	5,634	5,634	6,150	6,150	6,150	6,150	6,150	6,150
保険料基準額（兵庫県）	5,375	5,375	5,375	5,895	5,895	5,895	6,001	6,001	6,001
保険料基準額（全国）	5,405	5,405	5,405	5,784	5,784	5,784	6,014	6,014	6,014

（出典）【必要保険料額】平成27年度から令和元年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和2年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値、令和3年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

※地域包括ケア「見える化」システムから引用した資料であり、全国分の保険料基準額等、一部の項目については、国が公表している数値とは差異があります。

【国が公表している内容（令和3年5月14日公表資料より）】

・国の介護保険料額（月額・加重平均）は 6,014円（第7期は5,869円）（↓認定率は令和2年12月末時点）

・全国の保険料最低額 月額 3,300円（北海道・音威子府村 要介護認定率 8.9%）

（群馬県・草津市 " 16.1%）

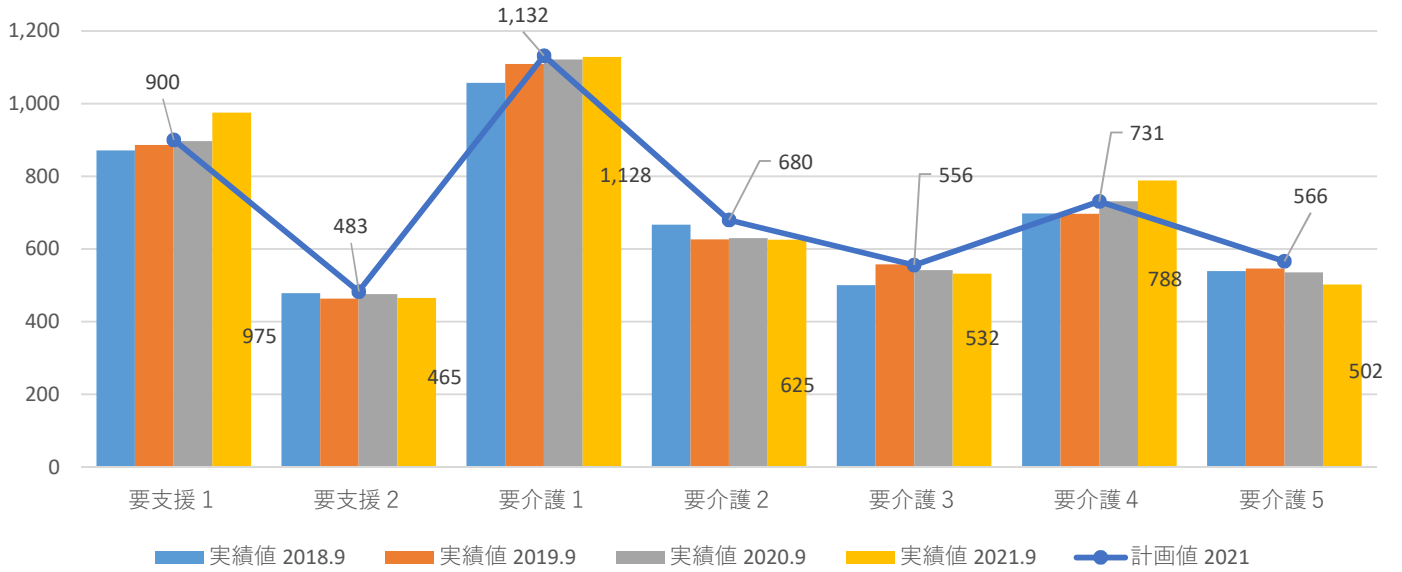
" 最高額 月額 9,800円（東京都・青ヶ島村 " 13.9%） ※豊岡市 546番目（1,571保険者中）

・県内の保険料最低額 月額 5,000円（稲美町 要介護認定率 15.1%）

" 最高額 月額 6,950円（養父市 " 22.1%）

※豊岡市 13番目（41保険者中）

認定者数の推移と計画値との比較



	実績値				計画値 2021	計画値と実績値の差 2021	実績値の増減 2018~2021
	2018.9	2019.9	2020.9	2021.9			
要支援 1	871	886	897	975	900	75	104
要支援 2	478	463	476	465	483	-18	-13
要支援合計	1,349	1,349	1,373	1,440	1,383	57	91
要介護 1	1,057	1,109	1,121	1,128	1,132	-4	71
要介護 2	667	626	630	625	680	-55	-42
要介護 3	500	558	542	532	556	-24	32
要介護 4	698	697	731	788	731	57	90
要介護 5	539	546	536	502	566	-64	-37
要介護合計	3,461	3,536	3,560	3,575	3,665	-90	114
合計	4,810	4,885	4,933	5,015	5,048	-33	205
前年度比人数	91	75	48	82			

要支援 1 の認定者数について、計画ではほぼ横ばいと推計していましたが、計画値より大きく増加しています。

これは、今年度から介護予防・生活支援サービスのみの利用についても、介護認定が必要な方は介護認定申請を案内するようにしたため、増加したものと考えています。

イ 介護予防・生活支援体制の整備について

高齢者がその有する能力に応じて可能な限り自立した生活を送ることができるように、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの充実・強化を図ります。

(概要)

1 介護予防・生活支援体制の整備

- (1) 専門職による介護予防・生活支援サービスの提供
- (2) NPOや社会福祉法人等の団体と地域住民等が連携・協働するなど多様な主体が提供する家事援助等の生活支援サービスや集いの場の提供
- (3) 生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を通じた互助活動、民間サービス等を含む多様な生活支援に資する資源の発掘・創出

(推進状況)

1 介護予防・生活支援体制の整備

(1) 専門職による介護予防・生活支援サービスの提供

	指定事業所数 (2022年1月末)	延利用者数 (4～12月)	実利用者数 (12月)
予防給付基準訪問介護事業	22事業所	3,258人	316人
予防給付基準通所介護事業	36事業所	6,561人	660人

(2) NPOや社会福祉法人等の団体と地域住民等とが連携・協働するなど多様な主体が提供する家事援助等の生活支援サービスや集いの場の提供

	実施地区数 (2022年1月末)	延利用者数 (4～1月)	実利用者数 (1月)
支え合い生活支援サービス事業	10地区	1,126人	116人
支え合い通所介護事業	13地区	1,152人	96人

(3) 生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を通じた互助活動、民間サービス等を含む多様な生活支援に資する資源の発掘・創出

ア 生活支援コーディネーターの配置及び活動状況

委託先	豊岡市社会福祉協議会【2015(H27)年度～】
配置人数	6名
活動状況	住民主体による地域課題の解決が図れるように、地域コミュニティ組織や行政区等の協議の場において助言を行うなど、地域における課題解決のための協議の場の設定を支援した。

イ 協議体

設置カ所数	24カ所（2022年1月末現在）
-------	------------------

ウ 資源の発掘・創出

（協議の場等から発展した地区の取組み）

【2022年1月末現在】

地区	主な取組み内容
豊岡	サロン、玄さん元気教室、集い場交流会、防災・福祉啓発活動、フェスティバル、座談会
八条	サロン、出張型サロン、福祉施設との連携、八条地区福祉連絡会
田鶴野	サロン、福祉研修会、田鶴野地区福連絡会
三江	サロン、福祉部小委員会、民生委員連絡会、研修会
五庄	サロン、集い場交流会、福祉研修会
新田	福祉研修会、福祉啓発活動、サロン世話役交流会
中筋	カフェ、地域福祉研修会、見守りマップ、福祉啓発冊子作成・啓発
港	サロン、見守り標語作成、研修会、ワークショップ、福祉だより
奈佐	カフェ、地域福祉研修会、奈佐地区福祉連絡会、なさいち
神美	カフェ、福祉研修会、集いの場一覧表作成、サロン世話役交流会、福祉部代表者会
城崎	カフェ、研修会（勉強会）、認知症カフェ
竹野	カフェ、玄さん元気教室、見守りマップ、勉強会、座談会
中竹野	カフェ、ふれあい居酒屋、認知症サポーター養成講座、ふれあいマーケット
竹野南	喫茶、玄さん元気教室、イナカーウォーキング、わいわい朝市、支え合い通所、支え合い生活支援、防災ワークショップ、移動交通ワークショップ
国府	地域福祉研修会、情報交換会
八代	カフェ、イナカー存続事業、八代オクラ活動
日高	健康づくり講座、一人暮らし高齢者の見守り、防災ワークショップ
三方	カフェ、支え合いマップ、福祉施設との連携、福祉体験啓発、三方デザイン会議
清滝	カフェ、福祉研修会、一人暮らし高齢者交流会、防災ワークショップ
西気	カフェ、地域福祉研修会、花めぐり、にしびーポイント
弘道	カフェ、防災研修会、防災士活動啓発
菅谷	喫茶、玄さん元気教室、地域福祉研修会、ふれあい広場（多世代交流）、独居老人見守り支援
福住	カフェ、こどもカフェ、地域福祉研修会、独居老人見守り支援
寺坂	カフェ、地域福祉研修会、認知症研修会、高齢者交通安全教室
小坂	防災学習会、サロン世話役交流会、防災人材バンク
小野	サロン、健康福祉部会、健康教室
資母	サロン、玄さん元気教室、一人暮らし高齢者の集い、まごのて活動、救急医療情報キット啓発、地区通信発行、友愛訪問、福祉連絡会
合橋	カフェ、玄さん元気教室、一人暮らし高齢者の集い、まごのて活動、買い物ツアー、友愛訪問、福祉連絡会
高橋	サロン、一人暮らし高齢者の集い、緊急連絡先カード、友愛訪問、福祉連絡会

(課題)

社会福祉法人や NPO 法人等への個別協議、各種会合等を活用しての啓発等を実施しましたが、2021 年度は新たな事業開始地区は無く、計画通りの整備となりませんでした。

ウ 認知症総合支援事業（認知症あんしん大作戦）の推進について

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けられるよう支援体制の充実を図ります。

（概要）

認知症の人やその家族の視点を重視して取り組みます。

（推進状況）

（1）普及啓発・本人発信支援

	認知症サポーター 養成講座	認知症サポーター フォローアップ講座	認知症キャラバン メイト連絡会
実施回数	17回 (2022年2月末現在)	1回 (2022年3月予定)	1回 (2022年2月2日)
参加人数	583人		16人

（2）予防

	認知症予防講座
実施回数	3回 (2021年12月末現在)
参加人数	50人

（3）早期発見・早期対応

	認知症に関する 相談件数 (2021年12月末現在)	認知症疾患医療センタ ー等との連携件数 (2022年2月末現在)	認知症初期集中支援 チーム対応件数 (2022年2月末現在)
件数	805件	2件	16件

（4）医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

	認知症事例支援相談会 (2022年1月27日)	認知症家族介護教室 (2021年11月15日、12月21日)
実施回数	1回	2回
相談件数	3件	67人

	認知症カフェ・つどい (2022年2月末現在)
開設箇所数	9カ所

(5) 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

	若年性認知症の人と家族のつどい (2022年2月末現在)
実施回数	10回
参加人数	103人

	事前登録者数(死亡者除く) (2022年2月末現在)
認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク	106人

(課題)

認知症カフェは現在9カ所開設しています。第8期介護保険事業計画では全圏域に設置を目指すとしていますが、未設置の圏域があります。

認知症カフェ以外にも、当事者が簡単な作業などが出来る場所、社会参加できる場所の整備が必要です。

エ 高齢者福祉 3 事業について

高齢者等の孤立の防止、社会参加の促進及び閉じこもりによる心身機能の低下を防ぐことを目的とし、高齢者等が引き続き住み慣れた地域で生活を続けられるよう支援体制の充実を図ります。

(概要)

- (1) 一人暮らし高齢者等安心・見守り活動奨励金
一人暮らし高齢者等への定期的な見守り活動を行う行政区に対し、奨励金を交付。
- (2) 玄さん元気教室奨励金
玄さん元気教室の実施行政区等に対し、奨励金を交付。
- (3) ふれあいいきいきサロン補助金
7年目以降も継続してサロン活動を行う行政区や地域コミュニティ組織が行うサロン活動に対し、社会福祉協議会を通じて補助金を交付。

(推進状況【2022年1月末現在】)

- (1) 一人暮らし高齢者等安心・見守り活動奨励金 (単位：区)

	対象区数	実施区数		比較増減
		2020年度	2021年度	
豊岡	123	116	115	△1
城崎	31	18	17	△1
竹野	42	35	35	0
日高	70	66	64	△2
出石	51	47	48	1
但東	42	41	41	0
合計	359	323	320	△3

- (2) 玄さん元気教室奨励金 (単位：団体)

	2020年度		2021年度		比較増減	
	実施団体数	奨励金交付数	実施団体数	奨励金交付数	実施団体数	奨励金交付数
豊岡	65	62	66	61	1	△1
城崎	9	7	8	7	△1	0
竹野	22	20	22	20	0	0
日高	53	49	53	50	0	1
出石	36	35	37	35	1	0
但東	31	28	31	27	0	△1
合計	216	201	217	200	1	△1

(3) ふれあいいきいきサロン補助金

【行政区サロン】

(単位：区)

	対象区数	2020年度		2021年度		比較増減	
		実施区数	補助金 対象区数	実施区数	補助金 対象区数	実施区数	補助金 対象区数
豊岡	123	100	28	99	32	△1	4
城崎	31	18	12	18	12	0	0
竹野	42	27	10	26	14	△1	4
日高	70	53	48	53	48	0	0
出石	51	42	24	41	23	△1	△1
但東	42	33	20	32	20	△1	0
合計	359	273	142	269	149	△4	7

【コミュニティサロン】

(単位：コミュニティ)

	対象数	2020年度		2021年度		比較増減	
		実施数	補助金 対象数	実施数	補助金 対象数	実施数	補助金 対象数
豊岡	10	8	8	9	9	1	1
城崎	1	1	1	1	1	0	0
竹野	3	3	3	3	3	0	0
日高	6	4	4	4	4	0	0
出石	6	5	5	5	5	0	0
但東	3	3	3	3	3	0	0
合計	29	24	24	25	25	1	1

(課題)

2021年度は、「一人暮らし高齢者等安心・見守り活動奨励金」、「玄さん元気教室奨励金」、「ふれあいいきいきサロン」の3事業をいずれも実施していない行政区等は20行政区ありました。

今後、いずれも実施されていない行政区等への啓発方法について検討が必要です。

オ 家族介護用品支給事業について

介護用品を支給することにより、在宅高齢者及び介護者の衛生的・経済的な負担を軽減し、在宅福祉の向上を図ることを目的とし、高齢者等が引き続き住み慣れた地域で生活を続けられるよう支援体制の充実を図ります。

国においての本事業に関する方針は、2015（平成27）年2月に「原則として任意事業の対象外としたうえで、2014（平成26）年度時点で当該事業を実施していた場合に限り、当分の間実施して差し支えない」取扱いとされました。

また、2020（令和2）年11月には、第8期介護保険事業計画期間において、「2014（平成26）年度中に当該事業を実施している市町村であって、第7期介護保険事業計画期間中に

当該事業を実施している市町村に限る」とし、対象期間を2024（令和6）年3月31日までとされました。

市では、上記の取扱いが第8期介護保険事業計画期間における例外的な激変緩和措置であることを踏まえ、地域包括支援センターの運営等、他の事業との優先順位を勘案した上で、第9期介護保険事業計画に向け本事業の在り方について検討を行うこととしております。

（概要）

在宅で「要介護4」以上、または「要介護3」と認定された高齢者で要介護認定における認定調査票の「排尿」又は「排便」の項目において、「介助」又は「見守り等」に該当する高齢者を在宅で介護されている市民税非課税世帯の家族に対し、紙おむつや尿取りパッド等の介護用品と引き換え可能な介護用品引換券（6,000円／月）を交付。

（推進状況）

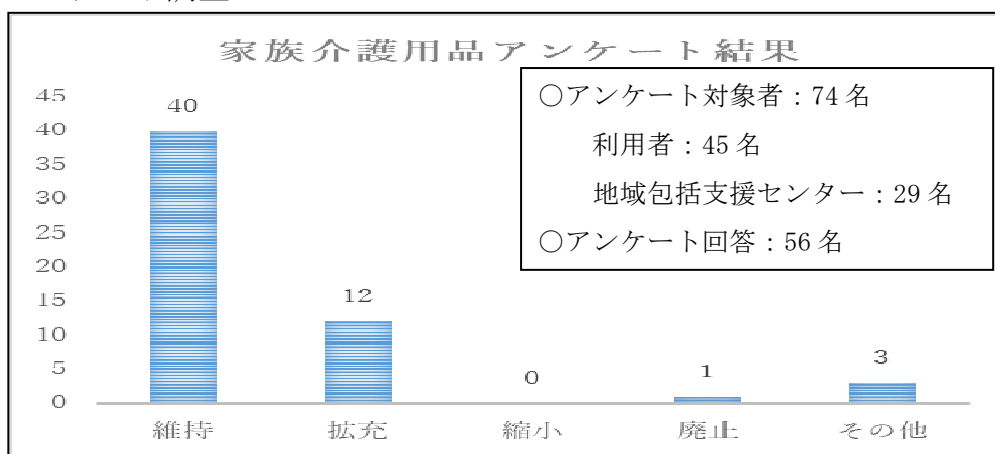
利用者や地域包括支援センター職員からのアンケート調査を実施し、本事業のニーズ等の把握に努めました。

（1）介護度別の利用状況等

（2022年1月末現在）

年 度	介護度別実利用者数（人）		支給額（円）
2021	要介護3	25	2,596,467
	要介護4	33	
	要介護5	23	
	合 計	81	

(2) アンケート調査



(今後の方針)

2022年度においては、更にアンケート調査を拡大実施し、本事業のニーズの把握を行います。

第9期介護保険事業計画に向け本事業の在り方については、アンケート結果等を参考にし、来年度の計画推進委員会において、市としての方針（案）を提示する予定としております。

カ 地域包括ケアシステムについて

(概要)

地域包括ケアシステムとは、「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組み」のことであり、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築およびさらなる深化・推進を目指しています。

第8期計画では地域ケア会議における個別事例の検討において行う課題分析やケアマネジメント支援の積み重ねを通じて、地域に共通する課題や有効な支援策を明らかにし、地域に不足する資源の開発や高齢者の自立支援に必要な施策の展開を図ります。

(推進状況)

地域包括ケアシステムの実現に向けた手法である地域ケア会議の開催を通じて、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めます。

今年度は、地域課題整理型地域ケア会議を開催し、日常生活圏域ごとに課題を整理分析しました。

1 自立支援型 地域ケア会議

- (1) 内 容 自立支援に向けたケアプランの検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、理学療法士、生活支援コーディネーター、各振興局豊岡市高年介護課等
- (3) 開催頻度 月1回程度

2 個別ケア型 地域ケア会議

- (1) 内 容 高齢者の生活の質の向上のため、課題解決を検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、関係機関等
- (3) 開催頻度 随時

3 地域課題整理型 地域ケア会議

- (1) 内 容 自立支援型や個別ケア型の事例から抽出された課題を整理分析し、対応策を検討
- (2) 参 集 者 地域包括支援センター、ケアマネ、理学療法士、豊岡市、生活支援コーディネーター、関係機関等
- (3) 開催頻度 年2回程度

(今後の方針)

来年度は、日常生活圏域ごとの課題を基に豊岡市全体としての課題や方針案を検討する予定です。

キ 介護事業所の状況について

(ア) 公募関係

(推進状況) 公募の概要

事業種別	(看護) 小規模多機能型居宅介護*1	特定施設入居者生活介護*2
施設数	2事業所 (登録定員 29人)	定員 (入居定員 48人、利用定員 34人) の範囲内で選定基準による得点の高い順に選定
整備圏域	小規模多機能型居宅介護 城崎または竹野圏域 看護小規模多機能型居宅介護 日高以外の圏域	市内全域
公募期間	2021年6月1日～7月14日	2021年8月2日～9月15日
公募結果	応募事業者なし	応募事業者なし

(今後の方針)

(看護) 小規模多機能型居宅介護は、在宅サービスの中核的役割を担うことから、中長期的な目標として、2025年には日常生活圏域ごとに1つ以上の整備を目指します。

特定施設入居者生活介護は、その指定を受けることによって、特別養護老人ホームへの入所を希望されている軽度 (入所の必要性がそれほど高くない) の方の受入れ施設としての役割を担うことが期待されているため、特定施設入居者生活介護の指定を受けることを基本として高齢者の住まいの整備を図ります。

*1 (看護) 小規模多機能型居宅介護：通いによるサービスを中心にして、利用者の希望などに応じて、訪問や宿泊を組み合わせて、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話、機能訓練を行います。(看護)が付く場合は、看護のケアも受けられます。

*2 特定施設入居者生活介護：介護保険の指定を受けた特定施設(有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など)が、入居している利用者に対して入浴・排せつ・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行います。

(イ) 公募以外の状況

主な介護事業所・施設数

(単位：箇所)

種 別	2021年 3月1日	2022年 3月1日	増 減	備 考
(1) 養護老人ホーム	2	2	0	
(2) 特別養護老人ホーム	10	10	0	
(3) 介護老人保健施設	2	2	0	
(4) 短期入所生活介護施設	14	14	0	
(5) デイサービスセンター	34	34	0	増加 出石グランドホテル機能訓練特化型デイサービス 減少 但東愛の園デイサービスセンター
(6) 認知症対応型デイサービスセンター	4	5	1	増加 デイサービスセンターやすらぎの里ひだか
(7) 小規模多機能型居宅介護事業所	5	5	0	
(8) 看護小規模多機能型居宅介護事業所	1	1	0	
(9) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1	1	0	
(10) 認知症高齢者グループホーム	14	14	0	
(11) 軽費老人ホーム（ケアハウス）	5	5	0	
(12) サービス付き高齢者向け住宅	6	7	1	出石グランドホテル
(13) 有料老人ホーム	3	3	0	
(14) 訪問介護事業所	22	22	0	増加 ハピネスヘルパーステーション げんき 減少 いろはヘルパーステーション 但馬愛の園ホームヘルプステーション
(15) 訪問看護事業所	9	9	0	
(16) 居宅介護支援事業所	34	32	△2	減少 なごみ 出石訪問看護ステーション